

(様式2)

令和 4 年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1590102123		
法人名	株式会社はあとふるあたご		
事業所名	はあとふるあたごグループホームゆたか		
所在地	新潟市東区豊町2丁目7番44号		
自己評価作成日	令和4年4月15日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kaiokensaku.niigata.go.jp/15/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&jigyousoCd=1590102123-00&ServiceCd=320&Type=search
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人新潟県介護福祉士会
所在地	新潟県新潟市中央区上所2-2-2
訪問調査日	令和4年5月23日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

はあとふるあたごグループホームゆたかでは、お一人おひとりがいきいきと自律したお暮らしができるように、ご本人様のペースやお気持ちを尊重して支援をさせて頂いております。当グループホームでは、ご入居者様の共用スペースを利用してデイサービスも行ってまいります。ご自宅より通いながら、グループホームの方々となじみの関係性を築けますので、将来的なご入居に備えることも可能です。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○家族と共に地域の中で安心した暮らし作り
事業所は大型商店街から一步入った工場街に建つ福祉総合施設の2階に木目調の内装が落ち着いた雰囲気を出している。令和3年5月に開設して一年あまりであるが“利用者が地域の中で生き生きと暮せる生活”を目標に、チームメンバーはそれぞれの役割遂行に邁進している。開設時より事業所のお便りを2ヶ月ごとに家族に送付するとともに担当職員は毎月利用者一人ひとりの暮らしの様子を写真を添えて送付している。また、季節変わりには、家族が衣類や寝具の入れ替えを行い、家族付き添いの受診や随時の電話連絡を行っている。6ヶ月ごとのケアプラン作成には支援内容をしっかり確認するなど、事あるごとに家族と連絡を図り、利用者の安心した暮らしが展開できるよう共に支える体制作りを努めている。コロナ禍で人や社会との馴染みの関係が制限される中、家族との絆づくりは入居者が新しい生活を安心して開始するために大切な支援である。また、管理者は福祉複合施設の事業所としての特権を生かし積極的に地域交流を進めたいと話している。今後ますます地域の中で生き生きと暮らす生活が展開されることが期待される。

○チームでつくる介護計画とモニタリング

居室担当者を中心に、センター方式の「私の暮らしシート」や「心身の情報」などを活用し、一人ひとりの思いや希望・意向の把握に努めている。再アセスメントは、再度様式を活用し6ヶ月毎に行われ、利用者の身体状況の変化や、その人らしい暮らしの新たな発見など注意深く観察し記入されている。3ヶ月に1回のモニタリングでは、日々の介護記録を振り返ることで利用者の実施状況から達成度を把握している。設定期間ごとの見直しはもとより、不備のないよう「入居者希望現況確認表」で把握しながら、本人や家族等からの意見を反映した介護計画の作成に取り組んでいる。職員とは会議の中で情報共有を行い、よりよい暮らしが続くようチームで支援している。